

# 7月の日曜・祝日当番医

(内)は内科も診療科目

科目	地区	7	14	15	21	28	
小児科	全市	きとう 川中豊町 ☎254-3152	かねはら 生野町 ☎252-2112	(内)五十嵐 山の田南町 ☎252-2009	王司こども 王司上町 ☎249-1331	まつぎき 梶栗町 ☎255-1234	
内科(内・精)	小月府	たかお 小月市原町 ☎282-8040	光風園病院 長府才川 ☎248-0254	牛尾 長府亀の甲 ☎245-2151	王司病院 王司本町 ☎248-3631	林 王司上町 ☎248-0255	
	新下関 北北	いちき 伊倉新町 ☎227-4800	安岡病院 横野町 ☎258-3711	勝山サテライト 田倉 ☎256-8866	下関病院 富任町 ☎258-0338	のうまる 羽山町 ☎231-3310	
	中央部 彦島	水町 綾羅木本町 ☎251-6116	川田じゅんこ 川中豊町 ☎254-3520	すみだ 熊野町 ☎255-3111	梶井 伊倉本町 ☎255-1188	一の宮 一の宮町 ☎256-3366	
外科	全市	門脇 宮田町 ☎223-2131	いとう 彦島江の浦町 ☎266-2220	しものせき脳神経外科 熊野町 ☎251-1010	中村 清末鞍馬 ☎282-0100	松永 長府中浜町 ☎245-2103	
整形外科	全市	寺崎 貴船町 ☎234-7000	なかた 上田中町 ☎223-5550	川村 長府八幡町 ☎245-3111	下田 彦島江の浦町 ☎266-6228	いそべ 幡生宮の下町 ☎253-6666	
婦人科	全	市民病院(婦人科) 向洋町 ☎231-4111	井町 秋根南町 ☎263-3070	野口 梶栗町 ☎258-2277	さいとう 細江町 ☎228-0753	藤野 大学町 ☎252-2200	
眼科	市	午前中	青木 安岡本町 ☎262-1770	ひろしげ 上田中町 ☎222-9360	あさの 梶栗町 ☎258-0771	伊藤 田中町 ☎232-4018	中村 長府土居の内町 ☎245-5546
耳鼻科		午後	新下関 秋根南町 ☎256-8933	岡 垢田町 ☎252-1075	古賀 西大坪町 ☎231-7788	でんでんむし 清末鞍馬 ☎281-3341	みやざき 梶栗町 ☎258-3387
菊川・豊田 豊浦・豊北		江本 菊川町下岡枝 ☎287-1222	はまさき 豊浦町吉永 ☎775-1192	青柳 菊川町下岡枝 ☎287-0563	藤本 豊浦町川棚 ☎772-3333	角島診療所 豊北町角島 ☎786-0735	

科目	地区	8/4	8/11	
小児科	全市	(内)すう 彦島江の浦町 ☎261-1234	石川 田中町 ☎222-3755	
内科(内・精)	小月府	大村 長府侍町 ☎245-6789	なかの 長府前八幡町 ☎246-3234	
	新下関 北北	武久病院 武久町 ☎252-2124	すぎはら 古屋町 ☎253-1368	
	中央部 彦島	岡野 川中豊町 ☎255-5670	伊藤 稗田北町 ☎253-2040	
外科	全市	松井 丸山町 ☎232-2255	螢 金比羅町 ☎223-8000	
整形外科	全市	あきの 秋根本町 ☎256-2851	野村整形 綾羅木本町 ☎253-6868	
婦人科	全	やかべ 秋根西町 ☎257-0303	おがた 赤間町 ☎223-5080	
眼科	市	午前中	まつもと 羽山町 ☎228-5555	野村 綾羅木本町 ☎252-4130
耳鼻科		午後	かげやま 一の宮町 ☎263-3200	よねだ 長府中浜町 ☎245-2930
菊川・豊田 豊浦・豊北		じょうの 豊浦町宇賀 ☎776-5151	あめやま 菊川町田部 ☎288-1000	

▷ 歯科 歯科医師会館(貴船町三丁目/☎234-8020)  
日曜日、祝日の午前10時~午後3時

▷ 豊浦病院[内科・外科](豊浦町大字小串/☎774-0511)、  
豊田中央病院(豊田町大字矢田/☎766-1012)は、  
救急対応しています。

\*小児科、内科、外科、婦人科の診療時間=午前9時~  
午後6時。ただし、豊浦地区は午後5時まで。昼の休  
診時間などは医療機関ごとに異なるため、事前に各医  
療機関に問い合わせを。

\*当番医はやむを得ない事情で交代することがありま  
す。確認はオイシャ電話(☎233-0148)で。

市ホームページ【夜間・休日診療の携帯サイト】  
携帯・スマホサイト



QRコードから、夜間・休日診療  
のサイトへアクセスできます。



携帯電話版

スマートホン版

## 表紙の言葉：「もの」づくりシリーズ③

### 無農薬栽培の米づくり「アイガモ農法」

「アイガモ農法」とは、農薬・化学肥  
料を使用する代わりに、水田にアイガ  
モを放して雑草取りや害虫退治をさ  
せ、ふんも稲の肥料になる人と自然に  
優しい農法です。アイガモたちのおか  
げで農薬を使う必要がなく、安全な米  
が収穫できるのです。

菊川町の菊川レインボー稲作研究会  
では、平成5年からこの農法で無農薬・  
減農薬栽培に取り組んでいます。

6月中旬、同研究会会員の金田仁  
司さんの水田に、保育園児によって、  
88羽のアイガモのひなが放鳥され、  
元気に動き回っていました。



JA 下関菊川営農経済支部 (☎ 287-1237)

※『市報しものせき』は再生紙、植物油インキを使用しています



古紙配合率100%再生紙を使用しています

